

令和2年10月～

ロタウイルスワクチンが定期接種になり
無料で接種できるようになりました。

定期接種の対象者

令和2年8月1日以降に生まれた6週～14週6日のお子様が対象です。

ロタウイルス胃腸炎とは～予防接種の必要性～

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く手洗いや消毒などをしっかりしても感染予防が難しいため乳幼児のうちにほとんどの子どもが感染します。下痢や嘔吐は1週間程度で治りますがひどい場合は脱水症状を起こし、入院が必要となります。初めて感染した時は重症化しやすいため注意が必要です。

ロタウイルスワクチンはロタウイルス胃腸炎の発症を7～8割減らし重症化を予防できます。生後すぐに感染する場合がありますので、はやい時期に接種を完了することが大切です。



ロタウイルス予防接種について



ロタウイルスワクチンは飲むワクチンです。

お腹がいっぱいだと上手に飲めない場合があるので接種前30分は授乳を控えましょう。上手に飲めなかったり、吐いてしまった場合はわずかでも飲み込みが確認できれば効果に問題はないので再度接種する必要はありません。



ワクチン接種後2週間程は赤ちゃんの便の中にワクチンのウイルスが含まれていることがあります。

オムツ交換の後は丁寧に手を洗ってください。

接種期間・スケジュール

ロタウイルスワクチンはロタリックスとロタテックの2種類あります。2種類とも予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なるため途中で別のワクチンに変更することはできません。小児科によって変わってきますので、途中で小児科の変更は充分注意が必要です。

